

地域活性化PJ 最終発表 「地域を元気に！学生による 高齢者サロン運営！」

ぽちゃらいーず

メンバー

塩原有紀

杉浦都子

仲宗根蘭乃

早川果穂

古川友

渡邊楓夏



平成29年 3月11日

発表の流れ

- * 第1章 前回までの復習
- * 第2章 今回の研究及び提案
 - 第1節 アンケートの結果
 - 第2節 課題の克服
 - 第3節 具体的提案
- * 第3章 サロン実現へ、私達の思い

第1章 前回までの復習

(フィールドワークを通じて見えた現状と課題)

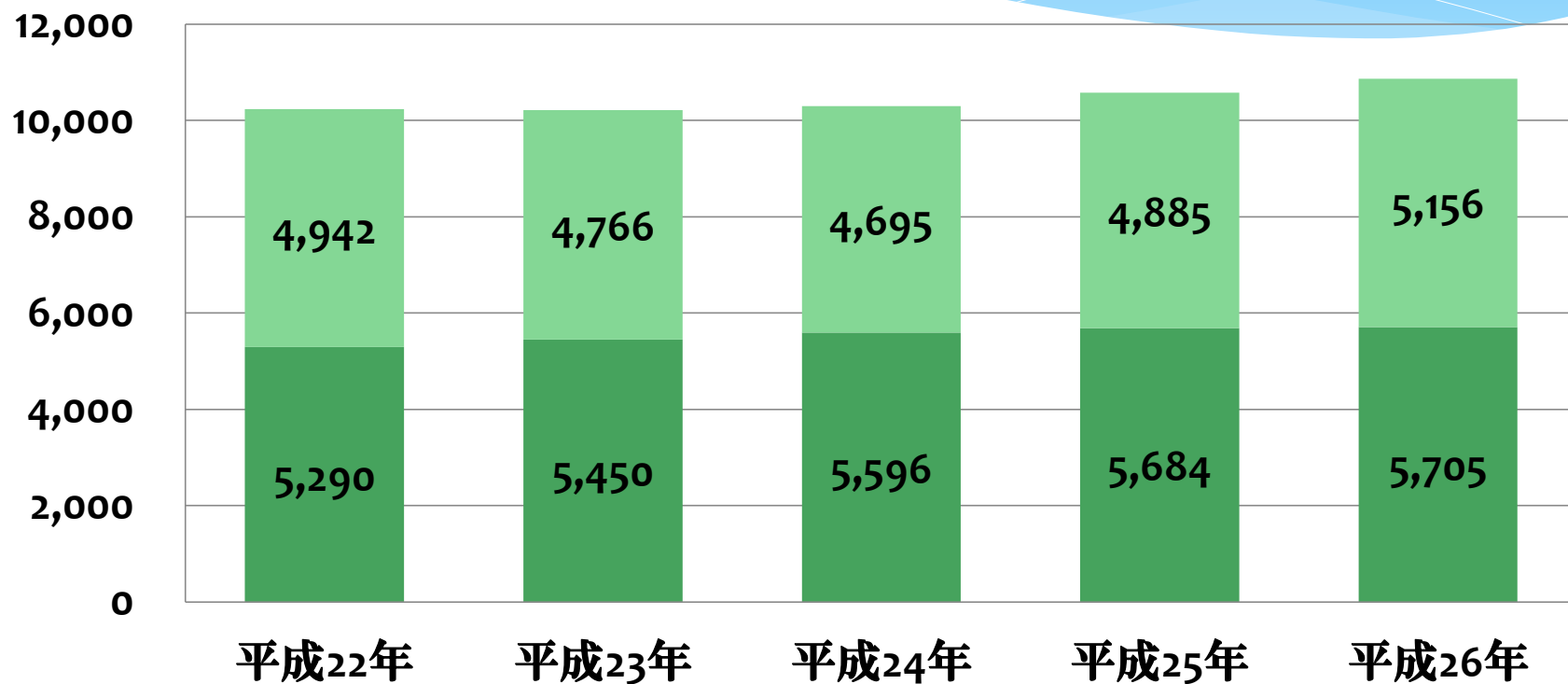


フィールドワークから見た市内の現状

- * 空き店舗の多い駅前商店街
- * デイサービスの林立
- * 老人施設の林立
- * 65歳以上の人口の増加
- * 独居老人の存在

65歳以上の人口の増加

後期高齢者・前期高齢者の推移



■ 後期高齢者人口 (75歳以上) ■ 前期高齢者人口 (65~74歳)

独居老人の存在

2016年9月23日

	配布数	登録数
瑞浪	168	169
土岐	113	116
陶	162	163
稲津	42	42
釜戸	48	48
大湫	12	13
明世	25	25
日吉	37	37
計	607	613

(瑞浪市社会福祉協議会)

高齢者交流や生きがい創出の場である サロンの存在を知っていますか？

○市内運営状況

○目的・内 容

○課 題



サロン市内運営状況

- 市内8地区・107箇所
- 毎月・年1回・2時間程度
- 回覧板・口コミ
- 地域の高齢者
- 場所
各地域の公民館・集会所など

目的・内容

目的

- ・様々な人と触れ合うことで、高齢者の生きがいを創出することを目的とする

サロン運営の基本理念

- ・サロンに来る高齢者はお客様ではなく、共に学び、共に遊ぶ仲間である

内容

- ・おしゃべりの場
- ・お茶する
- ・健康体操
- ・様々なレクリエーション

サロン運営上の課題

- ①高齢者が高齢者を面倒見ている
- ②足がない(バス停まで遠い、家まで来てほしい)
- ③人手不足
- ④新しいつながり、人間関係が生まれない
- ⑤女性向きの企画は多いが男性が楽しめるものが少ない
- ⑥若者との交流がない
- ⑦異年齢の交流がない
- ⑧楽しめる場所、生きがいを創出する場になっていない

最大の課題は？

サロンはあるのに、高齢者や
独居老人の足が向かず、その
結果、引きこもってしまう現状
がある事！

第2章 今回の研究及び提案



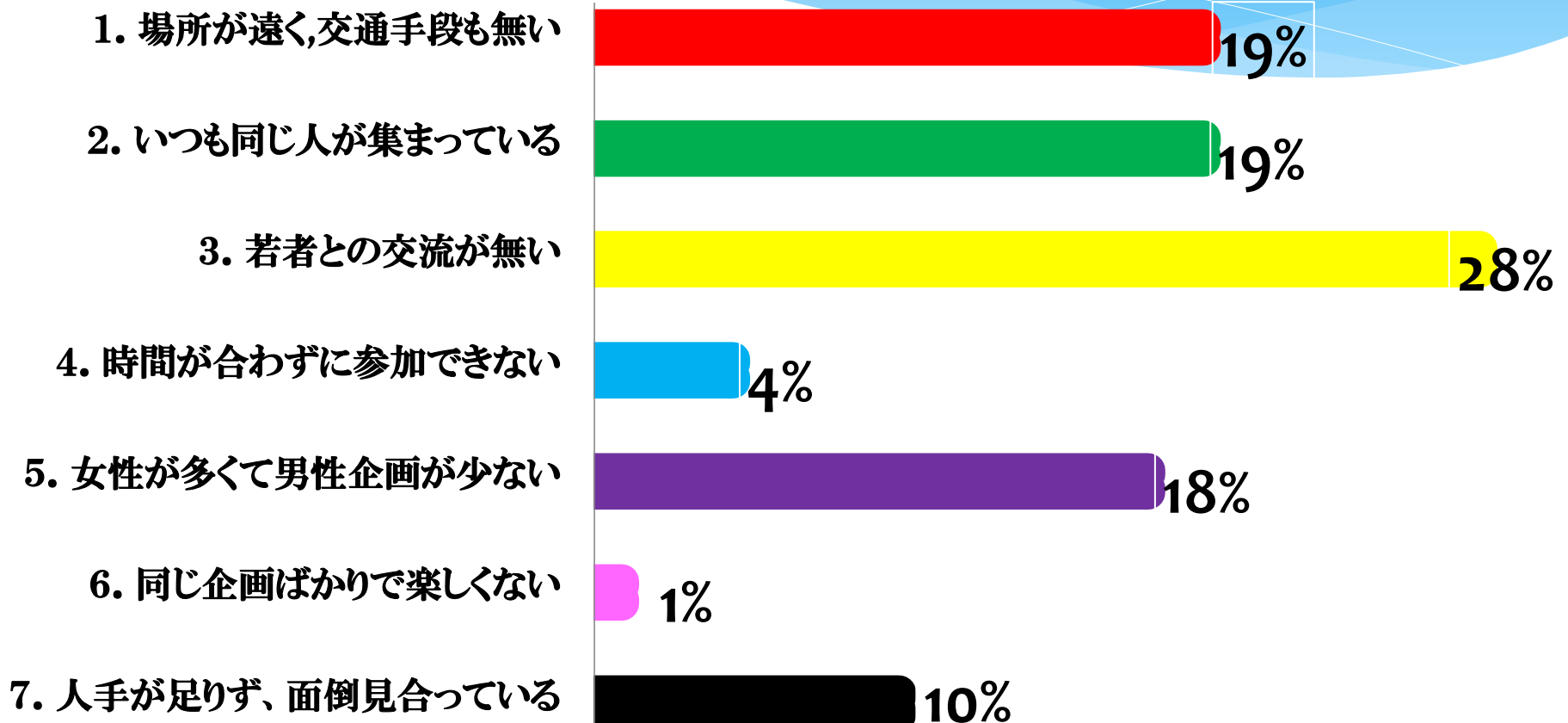
第1節 アンケートの結果

• 下記の市内4か所で、社会福祉協議会の方にもご協力頂きながら、お年寄りの声をアンケート形式で聞いてみました。

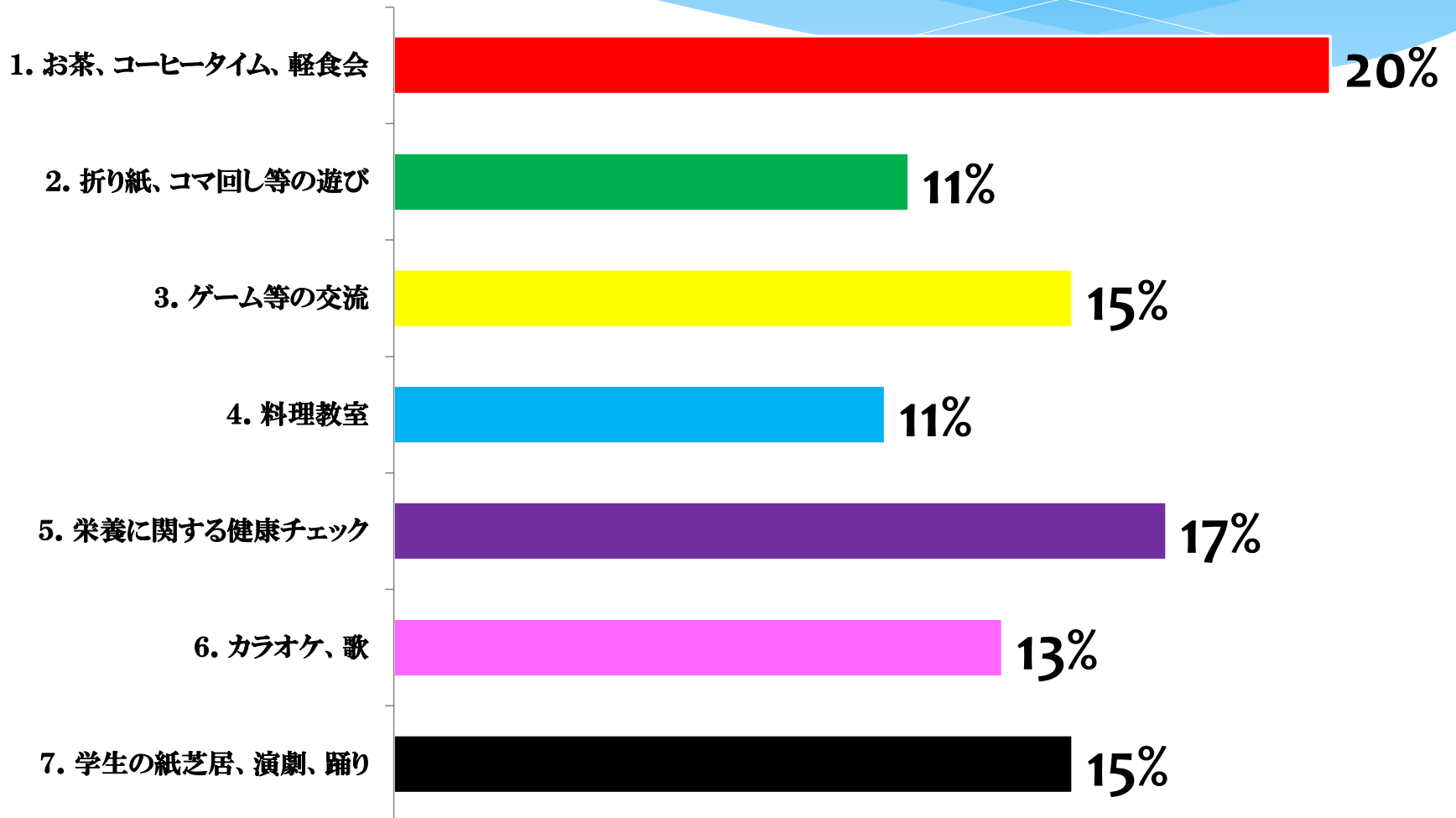
- * ハートピアいきいきサロン (平成29年1月16日)
- * 桜寿荘 元気サークル (平成29年1月24日)
- * 第51回瑞浪市社会福祉大会 (平成29年2月11日)
- * 栄町公民館いきいきサロン (平成29年2月21日)



サロン運営課題・問題点



学生サロン実施内容



サロン実施時間帯

1. 10時～12時

33%

2. 13時～15時

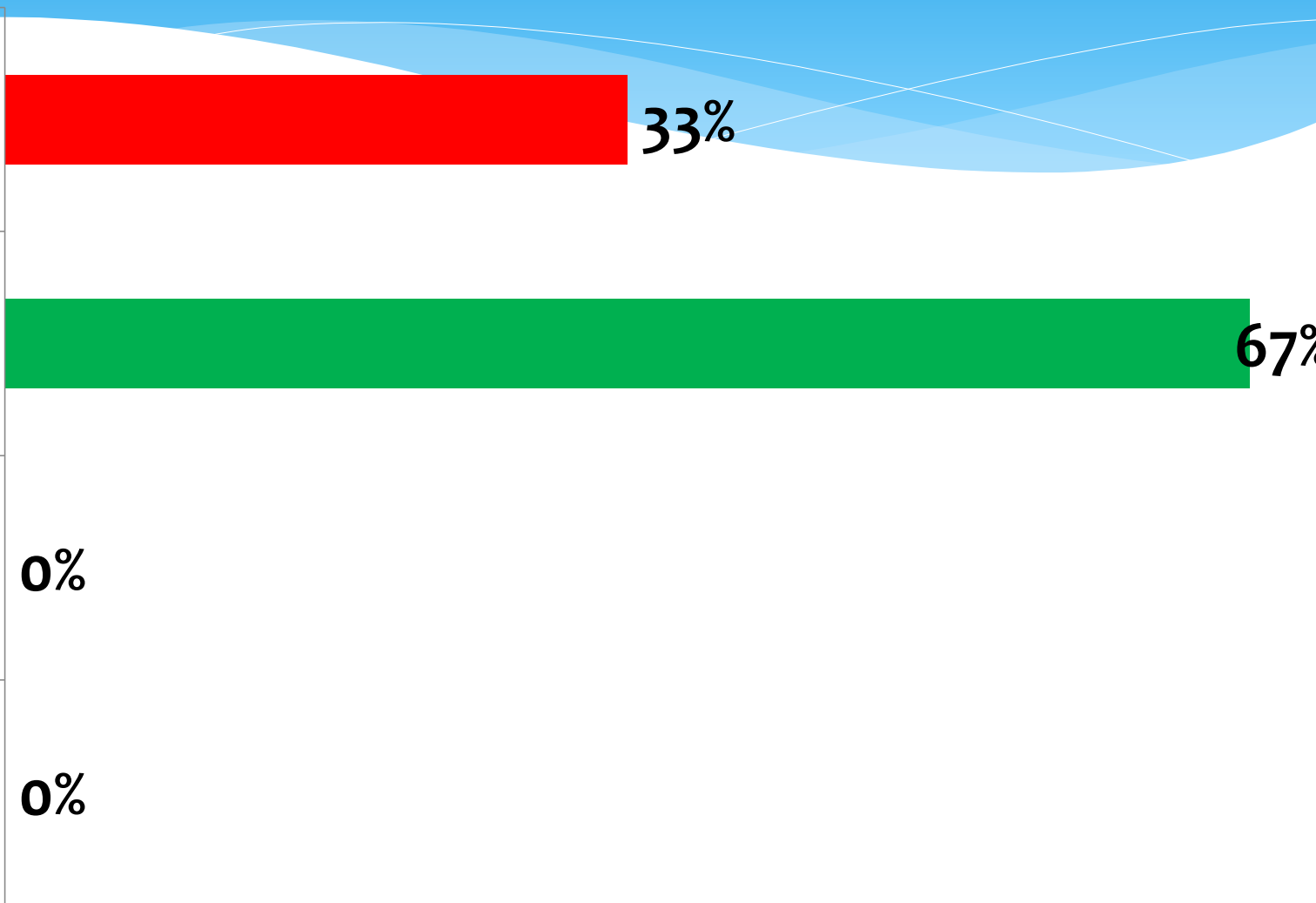
67%

3. 16時～18時

0%

4. 17時～19時

0%



自由筆記欄から

- * 時間は、1時間半～2時間まで(多数)
- * 曜日は、月曜日を避けてほしい(複数)
- * 送迎バスの巡回を希望(複数)
- * 70歳以上の方が多いため、若い力を借りたい(複数)
- * 男性スタッフ募集中
- * 色々なことをやってみたい
- * 体を動かしたい
- * 町内で月1回、15年間続いています
- * 男10人、女10人くらい毎回出席しています
- * 是非、実現してください！(複数)
- * よい企画です。是非、始めてほしい。協力します！(複数)

第2節 課題の克服

①場所について

- 大学の1階教室及び6号館ホールを使用する



第2節 課題の克服

②交通手段の確保について

- 普段、サロンが行われる場所(公民館・施設)等に集合し、スクールバスで送迎する。



第2節 課題の克服

③時間帯・曜日

- ・13時～15時がベスト
- ・月曜日を避ける

④時間

- ・最大2時間(1時間半～2時間以内)

⑤規模 15人～20人(学生も同様)

⑥地域への広報及び集客について

- ・市報や社会福祉協議会のお便り等に掲載
- ・地域ごとに呼びかけ、集客する(例 栄町・木の暮等)

第2節 課題の克服

⑦ 安心・安全の確保について

- ・保険の加入

社会福祉協議会「ふれあいサロン事業」保険

- ・Aプラン 1名1日あたり 13円
- ・Bプラン 1名1日あたり 27円
(死亡、入院、後遺症、手術、通院)

- ・スクールバスで最寄りの集合場所まで送迎
- ・学内に臨時のスロープを設置する
- ・原則、歩いて集合場所まで来れる方を対象にする

第3節 具体的提案

(課題克服に基づいた)

① 1年目の計画・場所・運営スタッフ 「学生によるSEASONサロン」展開！

- 春「いきいきサロン」 (5月～6月)
- 夏「七夕サロン」 (7月)
- 秋「いきいきサロン」 (10月～11月)
- 冬「クリスマスサロン」 (12月)

第3節 具体的提案

七夕サロン・クリスマスサロンの実施方法

- * 場所：6号館ホール
- * 時間：13時～15時
- * 曜日：土曜日
 - ・授業外に行う
 - ・保育科、健康栄養学科合同
- * 運営スタッフ
 - ・短期大学部1・2年生
 - ・ボランティアとして募集する



第3節 具体的提案

学生いきいきサロンの実施方法

* 場所：普通教室（1階）

* 時間：13時20分～14時50分

* 曜日：火曜日～金曜日

・授業時間内に行う

* 科目名：「高齢者の調理理論と実習」（健康栄養科）

「献立管理」（健康栄養科）

「社会貢献と地域活動」（保育科）

* 運営スタッフ

・保育科2年生・健康栄養科2年生

第3節 具体的提案

(課題克服に基づいた)

②内容

- お茶、コーヒータイム、軽食会
- 食事や栄養に関する健康チェック
- **認知症予防体操及びゲーム**
- ゲーム等の交流
- 学生の紙芝居、演劇、踊り
- 折り紙などをプレゼント(思い出に残る品を作る)
- 料理教室



認知症予防ゲーム

例えば？

「色読みゲーム」ちょっとやってみましょう！

色
色

黄
赤

赤
黒

緑

黒

読み

黒

黄

赤

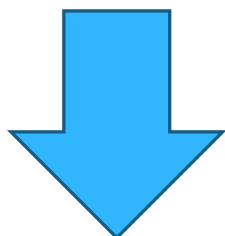
緑

第3節 具体的提案

(課題克服に基づいた)

③ 予算

- ・予算は原則かかりません！？



サロンに来る高齢者はお客様ではなく、共に学び、共に遊ぶ仲間である(基本理念)

- ・サロンは気兼ねなく仲間として参加する為に、毎回参加者から会費を徴収しています。
(1回200～300円)
- ・したがって、運営上、大きなお金は必要ありません！

第3節 具体的提案

* 2年目の計画 (1年目の振り返り→改善→実施)

- 現在の予定 2ヵ月に1回、年6回実施

- 3世代交流サロン

 - ：こいのぼりサロン (5月) ひなまつりサロン (3月)

 - ：高齢者、大学生、幼稚園児、3世代が交流するサロンを企画

* 3年目の計画 (2年目の振り返り→改善→実施)

- 現在の予定 2ヵ月に1回、年6回実施

- 3世代交流サロンの充実

第3章

サロン実現へ 私達の思い

私たちの町と瑞浪市

良い点

- ・人と人とのつながり、絆の強さ
- ・人々の温かさ

課題点

- ・少子高齢化

瑞浪市の魅力・強み

- 中京学院大学
- 中京学院大学短期大学部
- 中京高校
- 瑞浪高校
- 麗澤瑞浪高校

合計 約3200名の

(16歳～22歳までの学生が毎日集まってくる町であり、
これは瑞浪市の人口の約8%にあたる。)

サロン実現へ、私達の思い

「学生と高齢者が支え合う街づくり」

その第1歩を私たちが踏み出すことで、誰もが夢や目標を持ち、笑顔で安心して暮らせる町にしたい。縁あって学生時代を過ごす私達にとっても、一生の思い出になる誇れる町にしたい。そんな願いを込めて実現に進んで行きたいです！

地域を元気に！学生による高齢者サロン運営！

皆様、本日はお忙しい中、お越し頂き、私たちのプレゼンテーションを聴いて下さり、ありがとうございました。

